



初期消火は あわてず、落ちついて

防災 訓練

火災を想定し 栗山地域で避難訓練

大規模地震による家屋倒壊や火災を想定した防災訓練が、9月1日(日)の早朝に、栗山全地区と南部一地区を対象に実施されました。

この訓練は、地震などの災害が発生した時に備え、日頃から防災意識を深めておくとともに、いざというときに適切な行動がとれるようにと、毎年この時期に行っているものです。

訓練は、午前4時県防災無線にて「判定会招集連絡報」を受理した町長が、直ちに課長補佐以上の役場職員と消防団幹部を非常招集して災害対策本部を設置。午前5時、全職員と消防団本部役員が招集され、現地派遣班と炊き出し班に分かれて行動を開始しました。

午前6時、町防災無線によって避難勧告が発令されると、それぞれの避難場所には、地区防災会の役員さんを先頭に、各地区の住民の方々が次々におとずれ、避難人員の報告など実践さながらの訓練が行われました。そして、避難訓練完了後に、消防署員の指導のもと、応急手当や初期消火訓練も行われ、参加したみなさんは熱心に取り組んでいました。



悪天候の中、避難場所へ集まった栗山地区のみなさん

普段から

万全の備えを

9月11日午前11時37分ごろ、千葉県東部地方を中心にかなり大きな地震があり、横芝町でも震度4の揺れを感じました。幸い当町での被害はありませんでしたがみなさんはその時どのような行動をとりましたか。

地震などの災害は、いつ襲ってくるかわかりません。「いざという時のため」普段から防災には万全な備えをしておきたいものです。

当町では現在、約3、200世帯に防災行政無線が設置されており、災害が発生した場合などには直ちに放送されることになっています。しかし、アンテナやコードが汚れていると、雑音などにより受信状態が悪くなりますので、日頃からよく掃除しておくようにしましょう。